

第2回 東アジア鉄器研究ワークショップー青谷上寺地遺跡ー開催要項

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター・鳥取県埋蔵文化財センター

1 目的

本ワークショップでは、各時代、各地域を代表する鉄の製品や生産関連遺物を実地で観察し、参加者相互で議論し、それらに対する観察力と表現力を高めることを目的としています。

第2回目は「地下の弥生博物館」ともいわれる鳥取県青谷上寺地遺跡です。木製品を大量に出土するような低地の遺跡であったからこそ豊富な鉄製品が出土しました。その遺存状況も驚異的で、弥生人が目にした鉄器の形、大きさ、そして稜線を観察できます。まさに「教科書的な」鉄製品をもつ遺跡です。

今回はこのような鉄器で加工された木器や骨角器も並列し、遺物相互の関係も議論できます。青谷上寺地遺跡の鉄製品全点を一挙に展示公開しますので、是非ご参加いただき、弥生時代の鉄製品に関する基本的な知識を確認し、今後の研究を深めましょう。

2 主催 愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター・鳥取県埋蔵文化財センター

3 日時 平成26年3月22日（土）12時30分から16時50分まで

4 会場 鳥取市青谷町総合支所多目的ホール（鳥取市青谷町青谷667）

5 内容

(1) 資料見学：青谷上寺地遺跡出土鉄器、木器、骨角器の見学を行います。

(2) 意見交換：参加者全員による意見交換を行います。

（トピック） 鑄造鉄斧と脱炭処理・有帯鉄斧とは何か・遺物に遺された鉄の加工痕 等

※閉会後に、JR鳥取駅周辺で懇親会を予定しております。

6 日程

時間	内容
11時30分	受付
12時30分～12時40分	開会・開会挨拶（久保穰二郎・村上恭通）
12時40分～12時45分	ワークショップの進行について（君嶋俊行）
12時45分～16時00分	資料観察（鉄・木・骨角製品）
16時00分～16時50分	意見交換（進行：村上恭通）
16時50分	閉会

7 定員 60名（要事前申込） ※会場スペースの都合により、定員を先着60名に限らせていただきます。

8 申込方法

下記申込先に**平成26年3月14日（金）までに**、氏名・所属機関・連絡先（電話番号、メールアドレス）・懇親会参加希望の有無を明記の上、電子メールまたはファクシミリでお申し込みください。
※本件の申し込みにかかる個人情報、この目的以外には利用いたしません。

【お申込み・お問合せ先】

〒689-0592 鳥取市青谷町青谷667番地

鳥取県埋蔵文化財センター 青谷調査室「第2回 東アジア鉄器研究ワークショップ」担当

電話（0857）85-5011 ファクシミリ（0857）85-5012

電子メール maibuncenter@pref.tottori.jp

